

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 3日

公表:令和 年 月 日

事業所名 すまいる

回答数 5 / 5

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	＜意見＞ 改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			＜意見＞・低学年にとっては、十分に体を動かせるスペースだと思う ・個別課題を行うスペースを考えると、仕切りが必要だと思う ② パーテーションを使い、空間の使い方を工夫していく
	2	職員の配置数は適切である		2	3	＜意見＞・送迎に行かれると残っている職員が少なく、一つの部屋のみにおいてもらう時がある ・もう一人いていただけるとお子さんとの個別の時間を取れると思う ② 既定の職員を配置しています。送迎等すまいるⅡやすまいるⅢに協力を得ながらおこなっていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5		＜意見＞・玄関や避難経路に段差あり ・玄関の枠のところの段差が気になります ② 毎月避難訓練をおこない、危険箇所や経路の確認を熟慮していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		2	② 課題や取り組み等、全職員が共通理解できるように工夫していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		4	予算の都合上行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		1	＜意見＞・全職員での参加は難しいが、少数でのオンライン研修に参加している
な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		1	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2		3	＜意見＞・Vinelandを取り入れている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		1	＜意見＞・月案担当職員に任せきりになっている ② グループワークや行事に合わせた活動を取り入れ、安心感や満足感が得られるように工夫していきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		3	＜意見＞・集団遊びが少ない ・遊びがマンネリ化している ② 同上
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2		2	＜意見＞・課題に取り組めていない ・きめ細やかには設定できていない ・きめ細やかまではいっていない ② ニーズや課題に合わせて個別活動や集団活動を適宜組み合わせ活動を工夫していきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2		3	② 同上
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		1	＜意見＞・打ち合わせはしっかりできている ・非常勤の先生にはノートを活用し共有できると思う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1		3	＜意見＞・子供の支援や送りに行っている職員もいるため、その日の振り返りはおこなっていない ・児童、職員の退所時間が異なるため、朝の打ち合わせでおこなっている ・打ち合わせではないが起きたことなど話す機会がある
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		2	＜意見＞・記録はしているがその後の検証、改善までは一人一人おこなっていない ② 毎月振り返りを行い、課題やニーズ、主な取り組みを設定している。引き続き、記録や検証を行い、職員が共通理解のもと支援をおこなってほしい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断してガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5			
	19	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断してガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2		3	② 季節に合わせた創作活動や公園、体育館利用等地域資源を生かし支援をおこなってほしい

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	1	体制が整わないため受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		ケースによって行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	必要であれば保護者の同意を得て提供することができる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	コロナ感染予防のため実施していない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		今年度すまいで実施したが希望者がいなかった
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		<意見>・相談していただけるように心がけてはいるが適切かどうかは判断が難しい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	2	コロナ禍のため開催していない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	4	法人の事業で毎年行っていたイベントはコロナ禍で中止している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	<意見>・保護者に周知しているかわからない ② 契約時に配布しています。今後、毎月4月に資料の配布をいたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		<意見>・毎月おこなっている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	<意見>・研修に参加した職員が伝達研修をおこなっている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	2 <意見>・該当する児童がいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		すぐに情報共有し対応するようにしています。また半年に一度振り返る機会を設け、再確認をしています。